



「ささえ～る」

広報委員会

※『ささえ～る』とは、「佐々木」・「ささえる」・「エールを送る」の意味を含めた造語です。

作業療法作品展



外来に短歌コーナー設置



アンダンテ
新しい憩いの場



夏祭りを盛り上げるスタッフ



院長

菊野恒明

大相撲秋場所が無事終わり、もうすぐ九州場所が始まります。豪風(たけかぜ)という力士を知っていますか?秋場所は西の関脇、35歳で新関脇です。秋田県出身、尾車部屋です。私はずっと豪風を応援してきました。初日で、ブルガリア出身の碧山(あおいやま)に、はたきこみで敗れました。そのあとネットで見ていると、「豪風がんばるぞ!」という豪風自身が書いているブログに出会い、感心しました。豪風のブログとファンのコメントがほのぼのとつづられていま

した。そんな長文ではないのですが、間違いなく本人が書いているという息づかいが感じられました。ファンのコメントは「とにかく怪我をしないように」ということのようにでした。是非とも勝って欲しいと思っていた私ですが、ブログを読んで、見方が変わりました。とにかく毎場所15日間怪我をせず無事に終えて欲しいと思います。まさに「無事これ名馬」ということですね。



夏 祭 り

今年も無事に夏祭りを終えることが出来ました。午前の部を七夕に因んだミニシアターと、踊り。午後の部が、当院名物となりつつある模擬店。という二部構成でした。

毎年担当メンバーが試行錯誤し、皆さんに楽しんで貰いたいという一心で計画しますが、今



年はミニシアターの作品探しに奔走した記憶が強いです。よく知られている七夕伝説ですが、その映像を探すとすると意外に見つからないものです。何とか見つけた作品の内容に一抹の不安がありましたが、後から聞いた皆さんの良かった、感動した、という声に深く安堵しました。

踊りはフォークダンスと炭坑節。意外にも皆さんコレが楽しかったというのは後日談ですが、夏らしく良かったのかもしれない。

模擬店も、新しいタイプの店を出したり、マンネリ化しない様に工夫を凝らしましたが、今回は演出の面等で少し課題が残りました。その辺りまた次のクリスマスで活かしたいと思います。



しかしながら天気にも恵まれ、ケガや事故もなく一日が終わり良かったと思います。

療法委員会委員長 福井



第 19 回 家 族 教 室

平成 26 年 9 月 1 日 (月)、11 家族 13 名が参加され第 19 回家族会を開催しました。

第 1 部は、「心の健康・からだの健康」をテーマに学びました。ご家族に精神疾患について正しい知識を持っていただくことで、患者様への理解が深まり、しっかりと向き合う事ができます。そのためには、支えるご家族自身がこころの保ち方を学び、ゆとりを持って、安定した心で患者様に接することで再発を予防し、良好な関係を築くことができます。

第 2 部の座談会ではグループごとにスタッフが同席します。同じ立場であるご家族だからこそ分かりあえて、悩みや不安を思い切り

吐露できる場があります。ご家族がお互いにアドバイザーになり話し合っています。3ヶ月に一度の開催であり、久しぶりに会ったご家族同士で大変盛り上がりられます。

今後も、心の負担を一人で抱え込まず皆さんでオープンに話し合える家族会を継続していきますので、よろしくお願いいたします。

アンダンテ 藤井



アンダンテのかわいいマスコット

病院・施設見学実習

今回、佐々木病院、フィールド・ラベンダーを見学、そしてそれぞれの概要を丁寧に説明して頂きました。その中で特に印象に残っていることは、長期入院患者さんに対して精神保健福祉士の支援についての高松さんの言葉です。



【講師を務める高松支援課長】

精神保健福祉士としては、これまで長期入院されていた患者さんに対し、状況を整理し課題を明確にしたうえで、焦らず長いスパンで、いろんなサービスを見学・体験してもらおう等の支援をしておられると教えていただきました。これにより、「やっぱりこんな暮らしがしてみたい。」等、入院生活では気がつくことができなかった気持ちや意欲を引き出すきっかけになるかもしれないと感じました。

今回の見学実習では、各部署からいろんなお話をお聞きすることができました。現場では患者さんの生活を考えていくうえで、様々な要素が絡み、支援の難しさを感じましたが、そんな中でも、まずは患者さんの思いや希望を大切にしていくこと、周囲との連携、常にかかわった自分のケースを振り返る姿勢を忘れずに、卒業後、現場で業務に当たって行くことができたらと思っています。とても勉強になりました。ありがとうございました。

北陸ビジネス福祉専門学校 喜多嶋 悠

部署紹介（薬剤）

平成26年6月12日に薬剤師法第25条がこれまでの「薬剤師は、販売又は授与の目的で調剤したときは、患者又はその看護に当たっている者に対し、調剤した薬剤の適正な使用のために必要な情報を提供しなければならない」から「薬剤師は、調剤した薬剤の適正な使用のため、販売又は授与の目的で調剤したときは、患者又は現にその看護に当たっているものに対し、必要な情報を提供し、及び必要な薬学的知見に基づく指導を行わなければならない」と改正されました。

これまでは書面による情報提供で問題なかったわけですが、今後は対面による指導という形をとることが法律で定められたわけです。薬剤の適正使用は病気の予後に大きく影響を与えます。特に精神疾患においては薬の中断が再発・再燃の原因として最も多いとされています。

私ども薬剤師は薬のスペシャリストとして、患者様の1日でも早い回復の一助となれるよう適正使用の推進のため、より高度な情報提供ができるよう日々スキルアップに努めてまいります。

薬剤師 山越



- ①佐々木病院の印象は？
- ②趣味は
- ③今後の抱負を一言で！

新入職員インタビュー

山越（薬剤師）

- ① 非常にアットホームで親しみやすい。
- ② スキー、釣り、ゴルフ
- ③ より良いサービスが提供できるようスキルアップに努めてまいります。

増田（看護補助）

- ① 温かい職場環境であると共に、皆が優しく笑顔で接してくれる。
- ② ビーチボール（室内の）
- ③ まだまだ聞いてばかりでご迷惑をおかけしております。いつも患者様の元気な顔がパワーの源です。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

北川（指導員）

- ① 職員の方が、とても優しく働きやすい職場だと思います。
- ② ドラマを見ることかな…。
- ③ 利用者様とお互いに良い関係を築いていき、信頼される職員になって行きたいと思っています。よろしくお願いいたします。

割山（看護補助）

- ① 精神科で働くのは怖いイメージがありましたが、実際に働いてみると全然違いました。職員の仲も良く、温かく感じました。
- ② カラオケ、DVD鑑賞
- ③ 早く仕事を覚え、患者様を笑顔にできるスタッフになりたいです。



委員会紹介（風紀接遇向上委員会）

看護能力が高ければ良い看護師なのか？社会性が身につけば良い社会人なのか？風紀接遇評価表を用いて評価した上で、高い評価を維持している人は改善する部分はないのか？低い評価の人には単に指導するだけで良いのか？さまざまな角度から個々をとらえた結果、人それぞれに自己向上する部分や改善を要する部分を持っている。社会人として動くのは個々それぞれが個人の役割を担うが、病院全体（組織）として当院にかかわる患者様やご家族、そして我々医療従事者間においても健全に働き充実感を得たい。

当委員会において、毎月「今月の目標」と題して、挨拶、接遇などモラル的倫理事項、時間、服装、調和等の乱れによる環境を修正出来るように実施目標を設定している。

私たちは、一人の医療従事者である前に、一人の社会人として、人として当たり前なモラルを身に付け、それを生かすことで医療現場にも胸を張って働ける、そんな職員教育を目指すとともに、患者様から選ばれる病院作りに常日頃から心がけたい。

風紀接遇向上委員会 小森

リ ー ダ ー 研 修

今年7月より、人材育成に豊富な経験をお持ちの中野先生を講師としてお迎えし、1年間を通して全6回の「リーダー研修」を実施しております。

リーダー研修を年間を通して受講することは初めての試みです。今回、役職者全員が参加しています。今まで、諸先輩方からアドバイスをもらったり、書籍を参考にしたりし、試行錯誤で自分なりのリーダー像を作ってきました。確かにそういう経験も大切です。しかし、大きな変化の中にある医療業界において、病院運営をするにあたり、個々が思い思いに進むのではなく、職員が同じ目標に向かって進むことが重要となってきました。同じ目標に導くリーダーの役割が重要性を増してきました。



【リーダー研修の風景】



編集後記

季節も秋となり、急に冷え込みが強くなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？秋と言えば、読書の秋、運動の秋、私にはもっぱら食欲の秋でしょうか。食卓では、サンマ、さつま芋、栗など秋の味覚をふんだんに取り込んだ食事をとり、健康管理につとめています。皆様も風邪などひかないように秋を楽しみましょう。

広報委員会 笹山

も の 忘 れ 外 来

「もの忘れ外来」とは、もの忘れが気になる方の外来です。もの忘れは、正常加齢によるものと認知症の初期の症状があります。もの忘れ外来では、病気によるものなのかを判断し、必要ならば治療を行います。認知症の場合、早期受診、早期診断、早期治療は非常に重要となります。

事前にお電話頂くか、来院して頂き、相談員が相談内容をお伺いいたします。その上で、診察日程を調整させていただきます。

【事前相談】（電話又は面接にて相談依頼を対応）
毎週月曜日 9:00～15:00

【もの忘れ外来】
毎週火曜日 9:00～12:00
受付時間 初回 8:30～11:00
再診 8:30～11:30

ご本人の生活状況をよく知っておられる身近な方と一緒に来院いただくと、多くの情報を得られ診療に役立てることができます。

また、当院ホームページ (<http://www.sasakihp.or.jp>)に「予約票」をアップしておきます。可能ならば、来院前にご記入の上ご持参して頂くと助かります。



今回の研修では、リーダーの考え方、心構えに始まり、実際に利用できるコミュニケーションスキルなど多彩なプログラムが用意されています。2カ月に1回の研修ですが、講義で習ったことを2カ月間実践し、経験することで身につけ、次の研修会でフィードバックします。

ここで学んだことを、職場で活かし、新しい佐々木病院の風土としていきたいと思っております。

事務部 吉田

医療法人社団 重仁 佐々木病院

住所 〒939-8073 富山県富山市大町1番地
電話 (076)425-2111 / FAX (076)425-2112
ホームページ <http://www.sasakihp.or.jp/>

精神科デイケア・精神科デイナイトケア・精神科ショートケア

ア ン ダ ン テ

電話 (076)423-2114(直通)

指定障がい福祉サービス事業所

フ ィ ー ル ド ・ ラ ベ ン ダ ー

住所 〒939-8073 富山県富山市大町3-4
電話 (076)495-1555 / FAX (076)495-1666
ホームページ <http://www.field-lavender.net/>